

公益社団法人生命科学振興会

平成 25 年度事業計画書

自平成 25 年 4 月 1 日

至平成 26 年 3 月 31 日

平成 23 年 3.11 の東日本大震災は、日本人の自然観や生活観に大転換をもたらした。これからの生命科学は他の関連分野と協調したつながりの全体としての新しい価値観、新しい全体像、あるいは新しい文化のあり方、これらを何らかのかたちで模索し、そのことによっていろいろな問題を処理していかなければならない時点に達していると思われる。このような時空に関する新しい世界観を基に、新しい生命倫理、哲学、宗教が求められている。

文明の変換期にあたって中央集権的な構造から、ネットワーク型社会への移行がおきている。社団の理念（生命の尊厳、人間・社会・自然の調和、生命を育む科学の創造）を軸に新しい活動が求められている。

本法人は公益社団法人として第 2 期目を迎え、益々社会への責任が重要視される。全国支部体制の強化、ホームページの充実化を図り、会員増強をめざすことが重要である。

ライフサイエンスとともに、隔月誌「医と食」の刊行を継続して行っているため、新会員への参加が増えた。今年度もこれらの活動強化を計りたい。

4 月には創立 40 周年を迎えるので、記念講演会を開催したい。

また、統合知に基づく栄養食養学・総合医療学に関する調査・研究を普及させたい。

事業計画内容

- 事業 1. 季刊誌「ライフサイエンス」の発行
- 事業 2. 隔月誌「医と食」発行
- 事業 3. 札幌シンポジウム（北海道支部担当）創立 40 周年記念講演会開催
- 事業 4. フィーリングアーツ 1000 回公演を目指す（関西支部担当）
- 事業 5. 医療、健康等の新聞発行（九州支部（四国・沖縄含む）担当）
- 事業 6. ホームページの運用 (<http://www.lifescience.or.jp/>)
- 事業 7. 生命科学に関する調査研究（講演、ワークショップ等の開催）
- 事業 8. 栄養食養学・総合医療学の調査研究